

市町村名	南風原町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	低炭素社会化事業(省エネ設備導入事業)		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-(ア) 地球温暖化防止対策の推進			
担当部課名	教育部	教育総務課	事業実施 年度	令和 3 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)	
事業内容	温室効果ガス(CO2)を減らし地球温暖化の抑制に繋げるため、町立幼稚園、小学校、中学校にある室内灯(蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等への切り替えを行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額 ・執行額 【単位:千円】		~H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額			26,289	0	26,289	
	B. 執行済額			26,145	0	26,145	
	うち 交付金充当額			20,916	0	20,916	
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	99.5%	%	99.5%	
執行状況の説明	令和3年度の事業予定であり、計画通りに事業執行することができた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
	学校施設室内灯(蛍光灯)のLED灯への切り替え(1363灯)実施。	目標	-	-	-	1,363灯	-
		実績	-	-	-	989灯	-
		目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
	温室効果ガス排出削減量 [136t-co2/年]	目標	-	-	-	-	136t
		実績	-	-	-	-	130t
		目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	4年度 目標/発現年度
	温室効果ガス排出削減量 [136t-co2/年]	目標	136t				136t
		実績	130t				130t
		目標					
	実績						
状況説明	1,363灯のLED化を目標に、南風原町立小学校3校・中学校2校・幼稚園4園のLED化整備の設計及び工事を実施し、989灯のLED照明の設置を行ったが、目標を374灯下回る結果となった。目標値を下回った要因としては、高効率の照明機器を設置しCO2削減量が増えたため灯数が減った事によるが、成果目標は概ね達成した。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
LED照明の適正な運用が行われており、低炭素化社会の推進に効果を発揮している。			学校と協力して省エネに努めることや、適正な管理が行われるように努める。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
学校と協力して省エネに努めることや、適正な管理が行われるように努める。また、さらなる低炭素化社会の推進に向け高効率の設備機器への更新を検討する。							

市町村名 南風原町

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	水難救助整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
担当部課名	総務部	総務課	事業実施 年度	令和 3 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	海水浴やマリレジャーを楽しむ観光客等ビーチ利用者の水難事故や災害への消防活動の機能強化を図るため、水難救助車の整備を行う。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】			3年度		合計	
	A. 予算現額		31,266		31,266	
	B. 執行済額		31,266		31,266	
	うち 交付金充当額		25,012		25,012	
	執行率(%) (B/A)		100.0%		100.0%	
	執行状況の説明	令和3年度にて予算執行済みである。				
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
	水難救助車の配備(1台)	目標	4年度			
		実績	1台			
		目標				
		実績				
		目標				
実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
	水難救助車の配備(1台)	目標	3年度	水難救助車の配備完了		
		実績		水難救助車の配備完了		
		目標				
		実績				
		目標				
実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		4年度				
	水難救助訓練(35回/年)		目標	35			
			実績	30			
			目標				
		実績					
状況説明	<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各警備課で水難救助隊員を中心に車両取扱い訓練を実施。迅速で効率的な活動を行える体制づくり。 水難車の出動件数は3件で、迅速な出動、活動開始はできたが、事故発生後時間が経っており死亡確認等の活動となった。 コロナの影響でビーチの利用者は減少したが、迅速に救助活動に入れるよう水難救助体制を強化するため訓練を行った。 イベント等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために規模縮小や開催が中止となったため参加なし。 						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年30回の潜水訓練にて車両及び資器材の取り扱い訓練。 迅速出動につなげることが可能になった。・夜間の水難事故事案時に、照明器具を使用し早期の要救助者の発見に至った。 1台の車両でまとまって出動することで車内ミーティングが可能となり、現場到着後すぐに救助活動を開始することが出来た。 			<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上で活動を行う隊員の車両操作、資器材取扱訓練が少なかったため、各隊員の習熟度向上を図る必要がある。 				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、数ある資器材の取り扱い訓練、車両取扱い訓練の実施。イベント等や他消防本部との合同訓練を実施し安心してビーチ利用ができることをアピールし観光振興に寄与する。 							

市町村名 南風原町

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	北丘小学校西側避難通路整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制 の強化		
担当部課名	教育部	教育総務課	事業実施 年度	平成 26 ~ 平成 30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)		
事業内容	災害時の住民の安全を確保するため、避難通路及び法面の整備を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		~H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計		
	A. 予算現額	26,544	—	170,417	304,157	501,118		
	B. 執行済額	26,244	—	170,413	300,459	497,116		
	うち 交付金充当額	20,994	—	136,330	240,367	397,691		
	執行率(%) (B/A)	98.9%	—	100.0%	98.8%	99.2%		
執行状況の説明	学校の授業に配慮しながら事業を進めたことから令和元年度へ繰越しての事業完了となったが、計画通りに事業執行することができた。							
事業期間中 の活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	設計前の調査・測量	目標	設計前の調査・測量	—	—	—	—	—
		実績	設計前の調査・測量	—	—	—	—	—
	北丘小学校西側避難通路の基本設計の実施 (工事場所:北丘小学校西側階段 整備面積: 5014㎡)	目標	—	基本設計	—	—	—	—
		実績	—	基本設計及び 実施設計	—	—	—	—
	北丘小学校西側避難通路整備工事の実施	目標	—	—	—	工事の実施	—	
		実績	—	—	—	工事の実施	—	
北丘小学校西側避難通路整備工事及び管理 委託	目標	—	—	—	—	工事・管理 委託の実施		
	実績	—	—	—	—	工事・管理 委託の実施		
事業期間中 の成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	調査・測量:5,014㎡	目標	調査・測量: 5,014㎡	—	—	—	—	—
		実績	調査・測量: 5,014㎡	—	—	—	—	—
	避難通路整備設置基本設計書の完了	目標	—	基本設計書の 完了	—	—	—	—
実績		—	基本設計及び 実施設計の完了	—	—	—	—	

整備工事の完了	目 標	—	—	—	工事の完了	工事の完了
	実 績	—	—	—	工事の完了	工事の完了

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					年度 目標/発現年度
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	1回以上	1回以上	1回以上	—		
	実 績	0回	0回	1回	—		
状況説明	目 標						
	実 績						
<p>【R2年度】 ・令和2年度に避難訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により避難訓練が行えなかったため、令和3年度に避難訓練を実施し検証を行う。</p> <p>【R3年度】 ・令和3年度に避難訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により避難訓練が行えなかったため、令和4年度に避難訓練を実施し検証を行う。</p> <p>【R4年度】 避難訓練を実施し、訓練の結果、避難所が整備前よりも有効に活用できる事を確認した。</p>							

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R2年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。</p> <p>【R3年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。</p> <p>【R4年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっていたが、避難訓練を実施したことで周知が図れたと考える。</p>	<p>【R2年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。</p> <p>【R3年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。</p> <p>【R4年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について今後も周知を行う。</p>
---	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R2年度】 ・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。</p> <p>【R3年度】 ・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。</p> <p>【R4年度】 ・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。</p>
--

市町村名 南風原町

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	津嘉山小学校南側避難通路整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	教育部	教育総務課	事業実施 年度	平成26 ~ 平成30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所

事業内容 津嘉山小学校は災害時に避難所として指定されており、小学校の南側集落からの避難通路としては未整備となっているため、災害時にも安全に活用できるよう整備を行う。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額 ・執行額 【単位:千円】		~H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
	A. 予算現額		6,086	25,202	—	47,113
B. 執行済額		6,086	16,538	—	41,636	64,260
うち 交付金充当額		4,868	13,230	—	33,308	51,406
執行率(%) (B/A)		100.0%	65.6%	—	88.4%	82.0%
執行状況の説明	平成30年度より避難通路の整備工事を行い令和元年度の事業完了となったが、計画通りに事業執行することができた。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
設計前の調査・測量	目標	設計前の調査・測量	—	—	—	—
	実績	設計前の調査・測量	—	—	—	—
津嘉山小学校南側避難通路の基本設計の実施	目標	—	基本設計の完了	—	—	—
	実績	—	基本設計の完了	—	—	—
津嘉山小学校南側避難通路整備の用地買収(371.5㎡)(工事場所:津嘉山小学校南側通路 整備:149.1m)	目標	—	—	実施	—	—
	実績	—	—	実施	—	—
津嘉山小学校南側避難通路整備工事及び管理委託	目標	—	—	—	—	工事・管理委託の実施
	実績	—	—	—	—	工事・管理委託の実施

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
調査・測量:149.1m	目標	調査・測量:149.1m	—	—	—	—
	実績	調査・測量:149.1m	—	—	—	—
避難通路整備設置基本設計書の完了	目標	—	基本設計の完了	—	—	—
	実績	—	基本設計の完了	—	—	—
鑑定評価3個所の完了	目標	—	—	3個所	—	—
	実績	—	—	3個所	—	—

	補償調査3個所の完了	目 標	—	—	3個所	—	—
		実 績	—	—	3個所	—	—
	用地購入3個所の完了	目 標	—	—	3個所	—	—
		実 績	—	—	3個所	—	—
	整備工事の完了	目 標	—	—	—	—	工事の完了
		実 績	—	—	—	—	工事の完了

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	1回以上	1回以上	1回以上	—	1回以上
		実 績	0回	0回	0回	—	—
	目 標						
	実 績						

状況説明

【R2年度】
・令和2年度に避難訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により避難訓練が行えなかったため、令和3年度に避難訓練を実施し検証を行う。

【R3年度】
・令和3年度に避難訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により避難訓練が行えなかったため、令和4年度に避難訓練を実施し検証を行う。

【R4年度】
・令和4年度に避難訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により避難訓練が行えなかったため、令和5年度に避難訓練を実施し検証を行う。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R2年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。</p> <p>【R3年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。</p> <p>【R4年度】 ・小学校の児童は通学で避難通路を活用しており周知が図られているが、地域住民への周知が課題となっている。</p>	<p>【R2年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。</p> <p>【R3年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。</p> <p>【R4年度】 ・地域住民に対して避難通路を活用した避難について周知が必要。</p>
---	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R2年度】
・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。

【R3年度】
・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。

【R4年度】
・今後は、学校や地域住民と協力して通路の維持管理に努めることや、防災訓練を定期的に行う事で避難が迅速かつ適切に行われるように努める。